今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220

 $P \subset T$

国際調査報告

(法第8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 PCT0400752S	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP2004/015270	国際出願日 (日.月.年) 15.10.2004	優先日 (日.月.年) 16.10.2003			
出願人(氏名又は名称) 信越半導体株式会社					
国際調査機関が作成したこの国際調査幸この写しは国際事務局にも送付される。		♠) の規定に従い出願人に送付する。			
この国際調査報告は、全部で3	_ ページである。				
□ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。					
この国際調査機関に提出	まか、この国際出願がされたものに基っ された国際出願の翻訳文に基づき国際 チド又はアミノ酸配列を含んでいる(第	調査を行った。			
2. 請求の範囲の一部の調査ができない(第II欄参照)。					
3. □ 発明の単一性が欠如している(第Ⅲ欄参照)。					
4. 発明の名称は ※ 出願/	人が提出したものを承認する。				
□ 次にえ	示すように国際調査機関が作成した。				
5. 要約は 🗵 出願ノ	人が提出したものを承認する。	,			
国際調		第47条(PCT規則38.2(b))の規定により 国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ きる。			
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は、 第 <u>1</u> 図とする。 × 出願人が示したとおりである。					
□ 出	順人は図を示さなかったので、国際調	査機関が選択した。			
·	図は発明の特徴を一層よく表している	ので、国際調査機関が選択した。			
b 要約とともに公表される図はない。					

様式PCT/ISA/210 (第1ページ) (2004年1月)

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int. C17 H01L33/00, H01L21/205

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. C1 H01L33/00, H01S5/00-5/50

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

1922-1996年

日本国公開実用新案公報

1971-2004年

日本国登録実用新案公報

1994-2004年

日本国実用新案登録公報

1996-2004年 ·

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

引用文献の	ると認められる文献 	関連する
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号
Υ.	JP 2002-237617 A (株式会社東芝) 2002.08.23, 段落【0020】, 【0025】-【0034】, 図1 & JP 04-212479 A & US 5153889 A1 & JP 2000-058910 A	1-11
Y	JP 04-354382 A (信越半導体株式会社) 1992.12.08,全文(ファミリーなし)	1-11
Y	HUANG et al. 'Twofold efficiency improvement in high performance AlGaInP light-emitting diodes in 555-620 nm	1;, 2

|×| C欄の続きにも文献が列挙されている。

- * 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の後に公表された文献
- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

 国際調査を完了した日
 20.12.2004
 国際調査報告の発送日
 18.1.2005

 国際調査機関の名称及びあて先
 特許庁審査官(権限のある職員)
 2K
 3412

 日本国特許庁(ISA/JP)
 土屋 知久

 郵便番号100-8915
 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号
 電話番号 03-3581-1101 内線 3253

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int. Cl' H01L33/00, H01L21/205

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. Cl7 H01L33/00, H01S5/00-5/50

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

1922-1996年

日本国公開実用新案公報

1971-2004年

日本国登録実用新案公報

1994-2004年

日本国実用新案登録公報

1996-2004年

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献		
引用文献の		関連する
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号
Y	JP 2002-237617 A (株式会社東芝) 2002.08.23, 段落【0020】, 【0025】-【0034】, 図1 & JP 04-212479 A & US 5 153889 A1 & JP 2000-058910 A	1-11
Y	JP 04-354382 A (信越半導体株式会社) 1992.12.08,全文 (ファミリーなし)	1-11
Y	HUANG et al. 'Twofold efficiency improvement in high performance AlGaInP light-emitting diodes in 555-620 nm	1, 2

|×| C欄の続きにも文献が列挙されている。

- * 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の後に公表された文献
- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日 20.12.2004 国際調査報告の発送日 **18.1.2005** 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 土屋 知久 単便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線 3253

C(続き). 引用文献の	関連すると認められる文献	関連する	
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号	
	spectral region using a thick GaP window layer' Appl. Phys. Lett., 1992, Vol. 61, p. 1045-1047		
Y	JP 10-065210 A (三菱電線工業株式会社) 1998.03.06,段落【0034】-【0037】,【00 48】,図1,図2 (ファミリーなし)	3, 6	
Y	JP 06-296040 A (シャープ株式会社) 1994.10.21,全文,図2,図5 & EP 06111 31 A1 & US 5403916 A1	5, 9	
Y	KISH et al. 'Very high-efficiency semiconductor wafer-bonded transparent-substrate (Al _x Ga _{1-x}) _{0.5} In _{0.5} P/GaP light-emitting diodes' Appl. Phys. Lett., 1994, Vol. 64, p. 2839-284	2, 4, 6,	
	·		
		,	
		·	
·			
	. •		